

～最期までお父さんの居るこの家で～

エイプレイス麻生

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

管理者

糸山輝行

基本情報

【利用者】性別:女性 年齢:80歳 要介護:3 世帯状況:独居

【サービス導入経緯】

2年半前に直腸がん末期の診断を受ける

退院後、通院(抗がん剤治療)にて治療するも症状は進行

再入院、通院(抗がん剤治療)等を拒否し、在宅で暮らしていた

→症状の進行に伴い意欲、体力の低下が顕著となってきた

ご家族は支援困難な状況であり、再入院を勧める



ご本人は自宅での最期を強く希望



訪問診療・看護(医療)、定期巡回サービスの利用を開始

サービス開始当初の思い

＜ご本人の意向＞

- ・この家で死にたい
- ・この家には父さんもいる
- ・ずっと暮らしてきたこの家は何にも代えられない

⇕ **支援者不在の不安感・関係悪化傾向**

＜ご家族の意向＞

- ・ひとりで生活出来るはずがない
- ・身内の援助だけでは限界
- ・病院に入院してほしい

連携

【支援目標】

苦痛なく最期まで安心して在宅生活を送っていただくよう支援する

【医師の指示】

＜これからどうなるか＞水分、食事摂取量、動作が徐々に減っていき、
眠っている時間が増え、やがて静かに眠るように最期を迎える

＜何が出来るか＞苦痛は医療・生活は介護（24時間体制）

⇒ご本人の思いと穏やかな表情がもっとも大切 随時、状況に応じて支援していく

【看護との連携】

- ・医師からの指示を看護から介護へ
- ・急変時は看護へ指示を仰ぎ、状況に応じて看護から医師へ連絡相談
- ・訪問時の表情や状態、食事量、服薬状況等を随時報告

＜看護サービス＞体調管理・疼痛管理・服薬管理・入浴介助 等

支援経過～開始当初～

(介護計画 開始時)

	月	火	水	木	金	土	日
0:00							
6:00							
12:00	○	○	○	○	○	○	○
18:00							
23:00							



(介護計画 2週間後)

	月	火	水	木	金	土	日
0:00							
6:00							
12:00	○	○	○	○	○	○	○
18:00	○	○	○	○	○	○	○
23:00							

「好きなものを食べたい」「やっぱり家がいい」

訪問回数1回

調理・服薬介助・洗濯・掃除

- ・信頼関係の早期構築を目指し、コミュニケーション重視
- ・調理はご本人と相談しながら献立を決め、**食事を楽しみに**

＜アセスメントによるケア追加調整＞

室内はつかまり歩行 更衣、排泄行為は自立

定期訪問時、献立を一緒に考え、調理は楽しまっている

笑顔でたくさんお話をして下さいが

ふとした時に、「**心細い、寂しい、不安**」等の言葉が聞かれる

同時間帯(夕方)に胸苦を訴えるコール(随時訪問)

「娘たちは入院してほしいと思っている」「家じゃダメ？」

訴えが生じやすい時間帯に定期訪問を追加

メンタル面をフォローしていく

訪問回数2回

服薬介助・調理・洗濯・掃除＋安否確認

支援経過～転倒後～

(介護計画 3週間後～転倒後～)

	月	火	水	木	金	土	日
0:00							
6:00							
12:00	○	○	○	○	○	○	○
18:00	○	○	○	○	○	○	○
23:00	○	○	○	○	○	○	○



(介護計画 上記変更の2日後)

	月	火	水	木	金	土	日
0:00	○	○	○	○	○	○	○
6:00							
12:00	○	○	○	○	○	○	○
18:00	○	○	○	○	○	○	○
23:00	○	○	○	○	○	○	○

<急変によるケア変更・追加調整>

担当者会議にて現状の確認、計画継続となる



しかしながら、2時間後に室内にて転倒



<随時訪問・アセスメント>

24時間ベット上での生活

倦怠感、気分不快の訴え増加 起き上がり動作不可

献立は一緒に考えながら、食事を楽しむ 自力摂取可

ベット上での排泄 おむつ交換対応開始

※ご家族が調理を担当して下さい

「皆さんが頑張ってる」「私たちも何かできることを！」

「寝てるだけだけどやっぱり家がいい」

「皆さんがいるから安心よ」

訪問回数4回

配下膳・服薬介助・安否確認・おむつ交換



ベット上での排泄(おむつ交換)開始後、

尿量が多いため、深夜にもおむつ交換を追加させていただく

支援経過～終末期～

(介護計画 4週間後～永眠)

	月	火	水	木	金	土	日
0:00	○	○	○	○	○	○	○
6:00	○	○	○	○	○	○	○
12:00	○	○	○	○	○	○	○
18:00	○	○	○	○	○	○	○
23:00	○	○	○	○	○	○	○

<自然衰弱 ケア変更・追加調整>

24時間ベット上、ほぼ閉眼されており、
お声掛けに時折、開眼される
自力動作なく、開口不良、嚥下困難
発語はほとんど聞かれないが、表情は穏やか



表情を重視、内容に囚われず状況に応じたケア
訪問回数5回
安否確認・おむつ交換・服薬介助・食事介助
口腔ケア・更衣介助・清拭 等

※ご家族が交代で24時間付き添われる
「母は幸せですね」「最期、皆さんと一緒に頑張ります」



<サービス開始から6週間後>

ご家族が見守る中、穏やかな表情をされながら永眠されました

最期まで・・・

<ご本人談>

「死ぬのが怖い。でも最期までここに居ていいの？」

⇒「目が覚めたらうれしかった。今日も家にいるのよ」

⇒「みんなのおかげ、怖くない」

「安心して最期までここに居れる。ありがとう」

<ご家族談>

「どうにか入院させるしかない。一人じゃ如何にもならない」

⇒「皆さんが母を介護する姿を見ていたら・・・」

⇒「母は最期までわがままで、最期まで幸せだった」

「ありがとうございました」